

(別紙)

## 真円度測定器 活用技術研修

実施日、時間及び定員		実施日	平成31年1月25日(金)
		時間	9:00～12:00
		定員	10名
目的	加工部品の幾何公差を計測する機器として3次元測定機が多く活用されているが、特に円筒部品の幾何公差を計測する場合は真円度測定器の使用が能率がよく、真円度のみならず同心度・同軸度・平行度など様々な幾何計測が行える。そのため、本研修では実際に真円度測定器を活用しその計測と評価を行うことで、真円度測定器の活用技術の習得を目指すものである。		
対象者	・真円度測定器に興味のある方 ・真円度測定器の導入を考えている事業所様 ・幾何公差の測定方法を習得したい方		
講師	高知職業能力開発促進センター 機械系講師 原 俊昭 氏		
実習内容及び時間	1月25日	幾何公差について	幾何公差の種類や公差の判定 およびその計測方法など
		真円度測定器について	真円度測定器の特徴および機器の構成
		真円度測定器 操作方法	真円度測定器で部品を幾何計測し、 真円度などの幾何公差を測定
使用機器	真円度測定器 (ミットヨ RA-120P)		
教材費等	教科書 幾何公差の基礎と検証例		